

2022年5月 治験審査委員会議事概要

日時：2022年5月12日（木）17:30～18:15

場所：日本赤十字社医療センター 講堂2・3

出席者：（委員長）今門 純久

（委員）石田 禎夫・佐々木 慎・小松 淳子・石田 耕太・滋田 泰子・角 公彦（非専門）・佐藤 麻衣子（非専門）・吉原 里佳（非専門）・佐々木 惣一（院外、非専門）・原 英喜（院外、非専門）・岡崎 廉治（院外、非専門）

欠席者：高屋 和彦

※ 外部委員のWeb参加について

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止の観点から、2022年5月治験審査委員会において、外部委員はWeb会議にて同時参加。概要は下記の通り。

各外部委員のWeb会議参加場所：

原委員… 國學院大學研究室

佐々木委員… 弁護士事務所

岡崎委員… 自宅

外部委員への審議資料の配布方法：

通常配布資料… 4月26日 郵送にて配布

追加議題資料… 5月 9日 郵送にて配布

Web会議用システム：

Zoom (<https://zoom.us/>)

1. 新規審査依頼

(1) Long-term Follow-up Study for Participants Previously Treated with Ciltacabtagene Autoleucl

ciltacabtagene autoleucl の投与を受けた患者を対象とした長期追跡調査試験

【審議】

これまでに得られている非臨床試験・臨床試験成績に基づき実施の妥当性について審議

【審査結果】

治験実施を「修正の上承認」

※同意説明文書及び参加同意書の修正

2. 継続審査、治験実施計画書の変更及び新たな安全性情報の入手等による治験継続の可否の審査依頼及び逸脱に対する承認

(1) ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第Ⅲ相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(2) テルモ株式会社の依頼による腹膜透析療法施行中の慢性腎不全患者を対象としたTCD-58205の第Ⅲ相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(3) 中等症COVID-19の入院成人患者を対象に、エアロゾル化JH509の安全性及び有効性を評価する、無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(4) SARS-CoV-2 感染に起因する重症肺炎症患者を対象とした ADR-001 の第Ⅱ相臨床試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(5) 好酸球性重症喘息患者を対象とした GSK3511294 をメポリズマブ又はベンラリズマブと比較評価する非劣性試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(6) 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にレナリドミド及びデキサメタゾン併用時のカルフィルゾミブの週1回投与と週2回投与を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(7) 再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にカルフィルゾミブ, デキサメタゾン及び Daratumumab とカルフィルゾミブ及びデキサメタゾンを比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(8) イキサゾミブのロールオーバー試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(9) 造血幹細胞移植による初回治療が予定されていない未治療の多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブ, ボルテゾミブ, レナリドミド, 及びデキサメタゾン併用 (D-VRd) とボルテゾミブ, レナリドミド, 及びデキサメタゾン併用 (VRd) を比較する第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(10) ハイリスクのくすぶり型多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブの皮下投与と積極的経過観察を比較検討する第3相ランダム化多施設共同試験

【審議】

安全性情報については2-(9) と同時審議

治験に関する変更については2-(9) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(11) 未治療の全身性ALアミロイドーシスにおけるダラツムマブとシクロホスファミド, ボルテゾミブ及びデキサメタゾン (CyBorD) レジメンの併用及びCyBorDレジメン単独の有効性及び安全性を評価するランダム化第3相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(12) アッヴィ合同会社の依頼による再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたVenetoclaxの第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(13) アッヴィ合同会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたベネトクラクスの第Ⅲ相試験②

【審議】

安全性情報については2-(12) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(14) サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象とした SAR650984 の第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(15) サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象とした SAR650984 の第Ⅲ相試験

【審議】

安全性情報については2-(14) と同時審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(16) サノフィ株式会社の依頼による第Ⅰ相試験

【審議】

安全性情報については2-(14), (15) と同時審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(17) サノフィ株式会社の依頼による高リスク群多発性骨髄腫患者を対象とした SAR650984 の第Ⅲ相試験

【審議】

安全性情報については2-(14) ～(16) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(18) 多発性骨髄腫を対象としたポマリドミドの第三相国際共同試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(19) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による BB2121の第3相試験

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(20) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による被験者の長期追跡調査

【審議】

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(21) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による骨髓異形成症候群患者に対するACE-536の第Ⅲ相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(22) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による骨髓異形成症候群日本人患者に対する ACE-536の第Ⅱ相試験

【審議】

安全性情報については2-(21) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(23) 再発及びレナリドミド難治性多発性骨髓腫患者を対象としたBCMA標的キメラ抗原受容体発現T細胞 (CAR-T) 治療薬JNJ-68284528とポマリドミド, ボルテゾミブ及びデキサメタゾン (PVd) 又はダラツムマブ, ポマリドミド及びデキサメタゾン (DPd) を比較する第3相ランダム化試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(24) 再発又は難治性の多発性骨髓腫患者を対象とした BCMA 標的キメラ抗原受容体発現 T 細胞 (CAR-T) 治療薬 JNJ-68284528の非盲検第1b 相／第2相試験

【審議】

安全性情報については2-(23) と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(25) 造血幹細胞移植の適応とならない初発の多発性骨髓腫患者を対象として, ボルテゾミブ, レナリドミド及びデキサメタゾン (VRd) 投与後に BCMA 標的キメラ抗原受容体発現 T 細胞 (CAR-T) 治療製品 Ciltacabtagene Autoleucel を投与する群と, ボルテゾミブ, レナリドミド及びデキサメタゾン (VRd) 投与後にレナリドミド及びデキサメタゾン (Rd) を投与する群を比較する第3相ランダム化試験

【審議】

安全性情報については2-(23), (24) と同時審議

治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(26) ユーシービージャパン株式会社の依頼による免疫性血小板減少症に対するRozanolixizumabの
第Ⅲ相試験**

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

治験期間が1年を超えるため治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(27) ユーシービージャパン株式会社の依頼による免疫性血小板減少症に対する Rozanolixizumab の
第Ⅲ相試験（長期試験）**

【審議】

安全性情報については2-(26) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(28) (治験国内管理人) IQVIAサービス ジャパン株式会社の依頼によるMayoステージIIIbの未治療の
ALアミロイドーシス患者を対象としたCAEL-101の第Ⅲ相試験**

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(29) (治験国内管理人) IQVIAサービス ジャパン株式会社の依頼によるMayoステージIIIaの未治療の
ALアミロイドーシス患者を対象としたCAEL-101の第Ⅲ相試験**

【審議】

安全性情報については2-(28) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(30) ファイザー株式会社の依頼による、第1相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(31) ファイザー株式会社の依頼によるElranatamab (PF-06863135) の第2相試験

【審議】

安全性情報については2-(30) と同時審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(32) ファイザー株式会社の依頼による、第1/2相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
当センターで発生した重篤な有害事象について治験を行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(33) A Phase 1 Study of JNJ-64007957, a Humanized BCMA x CD3 Bispecific Antibody in Japanese Patients with Relapsed or Refractory Multiple Myeloma
再発又は難治性多発性骨髄腫を有する日本人患者を対象としたヒト化 BCMA×CD3 二重特異性抗体 JNJ-64007957の第1相試験**

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

**(34) A Phase 1 Study of JNJ-64407564, a Humanized GPRC5D x CD3 Bispecific Antibody in Japanese Subjects with Relapsed or Refractory Multiple Myeloma
再発又は難治性多発性骨髄腫を有する日本人患者を対象としたヒト化 GPRC5D×CD3 二重特異性抗体 JNJ-64407564の第1相試験**

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(35) ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼によるRRMM患者を対象としたCC-220の第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(36) 協和キリンによるKRN125の第Ⅱ相臨床試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

(37) アレクシオンファーマ合同会社による臨床的に血管外溶血（EVH）を示す発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）患者を対象としたDanicopanの第3相試験

【審議】

依頼者より報告された安全性情報に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議
治験に関する変更に基づき治験を継続して行うことの妥当性について審議

【審査結果】

治験実施継続を「承認」

3. 製造販売後調査審査依頼

○ なし

4. 製造販売後調査実施計画変更による調査継続の可否

(1) オフェブカプセル100mg・150mg (No.549) 特定使用成績調査：期間延長

○ニンテダニブエタンスルホン酸塩

対象疾患：全身性強皮症に伴う間質性肺疾患

※ 2022年4月25日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

(2) オフェブカプセル100mg・150mg (No.551) 特定使用成績調査：症例追加

○ニンテダニブエタンスルホン酸塩

対象疾患：進行性線維化に伴う間質性肺疾患

※ 2022年4月25日の迅速審査で承認されたことを報告とする。

5. 直接閲覧を伴うモニタリング・監査結果の報告

(実施報告)

(1) CC-4047 (No.234)

治験依頼者：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

治験責任医師：血液内科・鈴木 憲史

(2) Carfilzomib (ONO-7057) (No.249)

治験依頼者：小野薬品工業株式会社

治験責任医師：血液内科・鈴木 憲史

(3) JNJ-54767414-SC (No.254)

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師：血液内科・鈴木 憲史

(4) JNJ-54767414-SC (No.255)

治験依頼者：ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師：血液内科・鈴木 憲史

(5) ONO-4538 (No.259)

治験依頼者：小野薬品工業株式会社

治験責任医師：呼吸器内科・出雲 雄大

(6) JNJ-54767414-SC (No261)

治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(7) bb2121 (No262)

治験依頼者 : ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(8) bb2121 (No267)

治験依頼者 : ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(9) CAEL-101 (No278)

治験依頼者 : IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

治験責任医師 : 血液内科・鈴木 憲史

(10) JNJ-64007957 (No284)

治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・石田 禎夫

(11) SAR650984 (No285)

治験依頼者 : サノフィ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・塚田 信弘

(12) JNJ-64407564 (No286)

治験依頼者 : ヤンセンファーマ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・石田 禎夫

(13) SAR650984 (No287)

治験依頼者 : サノフィ株式会社

治験責任医師 : 血液内科・塚田 信弘

(14) JH509 (No288)

治験依頼者 : IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社

治験責任医師 : 呼吸器内科・出雲 雄大

(15) Elranatamab (PF-06863135) (No294)

治験依頼者 : ファイザー株式会社

治験責任医師 : 血液内科・石田 禎夫

(指摘事項)

○ なし

6. 治験終了・治験中止

○ なし

7. 製造販売後調査終了報告

(1) アーゼラ点滴静注液 (No.459) 使用成績調査

○ オファツマブ (遺伝子組換え)

対象疾患 : 再発又は難治性のCD20 陽性の慢性リンパ性白血病

(2) アフィニートール錠5mg (No.384) 特定使用成績調査

○エベロリムス

対象疾患 : 脾神経内内分泌腫瘍

(3) レバチオ錠20mg (No.505) 特定使用成績調査

○シルデナフィルクエン酸塩

対象疾患 : 肺動脈性肺高血圧症

(4) メチレンブルー静注 (No.576) 使用成績調査

○メチルチオニウム塩化物水和物

対象疾患 : 中毒性メトヘモグロビン血症

(5) ビンダケルカプセル20mg (No.433) 特定使用成績調査

○タファミジスメグルミン

対象疾患 : TTR型アミロイドーシス